

2/20 四国地区香川研修会の質問事項に対する回答です。

講義「周術期口腔機能管理の役割と流れ—無限のトラブルを断ち切る—」

Q：当院はまだ術前口腔ケアについて認識が薄いです。家人に頼みやすい、保湿剤や口腔内殺菌作用のある市販のものでおすすめてあれば教えてください。

A：当院では、口腔内殺菌作用のある市販の含嗽剤は特にお勧めはしていません。

歯科のものであれば、コンクールなどがあり、市販であればモンダミンやリステリンなど患者様が日常使用されているものを使用してくださいと説明しています。しかし、刺激が強いものは合わないことがあるため、ご自身で使用感を試してくださいと説明しています。

術前ケアには、ベンゼトニウム含嗽薬を使用しています。希望があればこちらは処方しています。（周術期として、化学療法中の方も含みますので上記の説明になっています）

保湿剤に関しては、ペプチサルやリフレケアなどをお勧めしています。（業者さんに言うとサンプルをくださるので、お渡しして好みのものを使ってくださいと説明しています。）

また、最近ではドラッグストアに口腔ケア用品のコーナーがあり、種類も豊富なのでそちらでみて買っただいても良いですよとお伝えしています。

院内売店にも数種類は取り扱いがございます。

Q：手術決定から当日まで、家庭で出来る具体的な口腔ケアの方法を教えてください。

A：まずは、患者様の口腔内の清掃状態を確認し、磨き残しの部分を見て、そこを重点的に磨いていただく様に説明します。多いのは、歯ぐきのキワや歯と歯の間、奥歯の磨き残しです。

大きく開けると実は奥歯の外側は磨きにくいので、少しお口を小さめにして歯ブラシを当てるように説明してみてください。あとは、舌の清掃指導を行っていただくように説明しています。

講義「周術期等口腔機能管理の実際—滅菌の現場 in 香川県立中央病院—」

Q：挿管して入室する患者の口腔ケアは1日に何回行うのがベストですか。

A：6時間ごとに行うようにQケアなどは推奨していますが、各勤務（3-4回/dayのうち2回は歯ブラシも行い丁寧に）に行っています。

講義「手術看護師による口腔管理」

Q：術前訪問時に口腔内の視察について、使用しているパンフレットや資料があれば教えてください。

A：当院でお渡ししているのは、説明の内容を大まかに箇条書きにしたものをお渡ししています。

参考となる資料は、周術期口腔機能管理と検索に入ると、他の病院のパンフレットや、保湿剤の会社、歯ブラシの会社などのホームページから見ることができますので参考にしてください。

Q：マウスピースの必要性を理解できている患者様はおられましたか？また、マウスピース必要患者の装着状況等分かれば知りたいです。

術前訪問時に口腔内の視察について、使用しているパンフレットや資料があれば、教えてください。

A：マウスピースに関しては、動揺歯のある患者様に関しては、術中の歯の脱落する可能性など説明し、必要性を話すと基本的には作製を拒否する方はいません。

また、耳鼻科などで前歯の保護が必要な方も基本的には拒否はなく、理解して頂けます。

マウスピースの自己負担は、保険算定があるため（数年前まではなかったため病院持ちで作製していました。）約2500円（3割負担）、約1000円（1割負担）です。その他の周術期口腔機能管理料は別途かかります。

